

劇団・老人決死隊 公演

作・大谷蛮天門

未来はぼくらの

手のひらに

〈出演〉

大谷蛮天門

川のツル



川のツル
写真撮影・Ryuji Atsumi



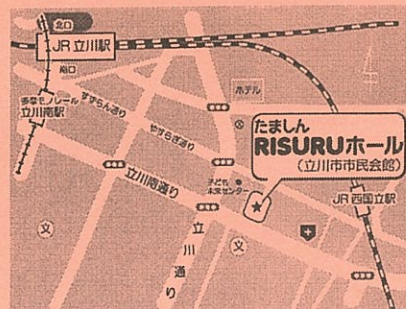
大谷蛮天門
写真撮影・Ryuji Atsumi



大谷蛮天門／

劇団・老人決死隊

80年代から、風の旅団、独火星などの Tent 芝居集団で、全国旅芝居をしていた大谷蛮天門が関東大震災下の朝鮮人虐殺などを描いた一人芝居を2006年に開始。以後、戦争と暴力のない母系制社会と桃太郎、先住民の土地における核実験、朝鮮人強制連行などをテーマに芝居を行う。2017年、大谷蛮天門が川のツルと劇団・老人決死隊を結成。「歴史から抹殺された3つの証言」「世にも怖いお話」などを公演。



少年や若者による野宿者襲撃事件、近年の釜ヶ崎暴動を、野宿者や少年自身のリアルな証言を交えて描く。国家や社会から排除された者同士が手を結び、国境を超え、ともに生き延びるハートのための闘いは「未来をぼくらの手のなかに」できるのか。

2019年

10月5日(土)

開演:19時(開場18時半)

参加費:1200円(予約)

1500円(当日)

500円(貧困割)

会場:たましんRISURUホール

地下1階サブホール

立川市錦町3-3-20 tel 042-526-1311
JR立川駅より徒歩13分
JR南武線西国立駅より徒歩7分

※さんきゅう便りに上演日が10月12日とあるのを10月5日にお詫びして訂正します。

主催/特定非営利活動法人さんきゅうハウス 協賛/生活保護費大幅削減反対!三多摩アクション
予約・連絡先/立川市羽衣町3-14-13さんきゅうハウス・吉田 (080-5088-3897)